



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 プレミアグループ株式会社

コード番号 7199 URL <https://www.premium-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 グループCEO兼COO (氏名) 柴田 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 グループCFO (氏名) 金澤 友洋

TEL 03-5114-5708

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	8,674	19.9	1,823	33.6	1,876	33.3	1,276	18.7	1,274	18.9
2024年3月期第1四半期	7,233	25.5	1,365	23.8	1,408	21.7	1,075	27.3	1,072	27.5

	四半期包括利益合計額		基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	1,318	13.4	33.62	33.36
2024年3月期第1四半期	1,162	29.3	27.56	27.36

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	126,926	16,149	16,100	12.7
2024年3月期	125,274	15,351	15,310	12.2

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	13.00	-	15.00	28.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	20.00	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	26.8	8,000	28.2	5,400	16.9	5,400	17.2	139.57

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正表示

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	40,470,570株	2024年3月期	40,470,570株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	2,584,309株	2024年3月期	2,584,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	37,886,261株	2024年3月期1Q	38,889,909株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 決算に関する詳細情報は、本日公表の決算説明資料にて記載していますので、併せてご覧ください。  
決算説明資料はこちらから <https://ir.premium-group.co.jp/ja/library/presentation.html>
2. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	5
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	7
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### 1. 経営成績等の概況

#### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日から2024年6月30日まで)におけるわが国経済は、雇用及び所得環境の改善やインバウンド需要の増加により、個人消費の持ち直しの動きがみられ景気は緩やかに回復しております。一方、世界的な金融引締めや不透明な国際情勢等を背景とした海外景気の下振れリスクや、物価上昇や金融資本市場の変動等がもたらす影響については、十分に留意する必要があると考えております。このような経済環境下、当社グループの主要ターゲットである中古車市場につきましては、2024年4月から2024年6月までの普通乗用車及び小型乗用車、軽四輪乗用車を合算した国内の中古車登録台数は1,315,731台(前年同期比0.9%増)と、前年を僅かに上回る結果となりました。(出典:一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ、一般社団法人全国軽自動車協会連合会)

当社グループは、法改正を含む外部経営環境の変化に応じたコンプライアンスの徹底を前提として、「世界中の人々に最高のファイナンスとサービスを提供し、豊かな社会を築き上げることに貢献します」「常に前向きに、一生懸命プロセスを積み上げることのできる、心豊かな人財を育成します」というミッションの実現を目指し、主要取引先である自動車販売店や自動車整備工場に対して、クレジット、故障保証に加え、「クルマ」に関する様々な工程においてお役立て頂けるオートモビリティサービスを複合的に提供することで取引接点を拡大し、業容・収益の成長を加速させるとともに、新たな成長モデルの実現に向けた様々な取組みに挑戦しております。

当第1四半期連結累計期間における状況は次のとおりであります。なお、セグメント別の営業収益については、セグメント間収益を除く外部収益を表記しております。当連結会計年度より報告セグメントの変更を行っており、これにより前連結会計年度のセグメント情報を、実務上可能な範囲で当連結会計年度と同様の方法で計算し、セグメント情報を修正再表示しております。

ファイナンス事業は、前第1四半期連結累計期間のクレジット取扱高の大幅伸長の反動が起因し、前年同期の伸び率は抑制されましたが、継続した自動車販売店の有料会員化による囲い込み活動が奏功し、クレジット取扱高は引き続き前年を上回る実績となりました。その結果、営業収益は4,812百万円(前年同期比19.3%増)、営業利益は1,220百万円(前年同期比19.4%増)となりました。

故障保証事業は、自社商品及び提携商品の販売促進並びに有料会員への移行促進に注力した結果、故障保証取扱高についても引き続き前年を上回る実績となり、営業収益は1,673百万円(前年同期比19.7%増)となりました。また、有料会員の堅調な構築による利益率の高い自社商品の伸長や継続的な原価低減施策を講じることにより、営業利益は312百万円(前年同期比82.1%増)となりました。

オートモビリティサービス事業は、有料会員の会員クラスのアップセルや有料会員サービスの拡充へ注力したことに加えて、前連結会計年度に実施した有料会員の会費価格改定による安定的な収益確保が寄与し、営業収益は2,186百万円(前年同期比21.4%増)、営業利益は297百万円(前年同期比69.4%増)となりました。

営業費用は、故障保証事業における原価低減施策やDX推進による各種業務プロセスのシステム化等の経費削減施策が奏功し、事業拡大に係る各種費用の増加を抑えた結果、6,852百万円(前年同期比16.8%増)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は8,674百万円(前年同期比19.9%増)、営業利益は1,823百万円(前年同期比33.6%増)、税引前四半期利益は1,876百万円(前年同期比33.3%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,274百万円(前年同期比18.9%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,653百万円増加し、126,926百万円となりました。これは主に、金融債権が2,075百万円、保険資産が1,220百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ855百万円増加し、110,778百万円となりました。これは主に、金融保証契約が1,717百万円、故障保証前受収益が325百万円増加したこと等によるものです。

(資本)

資本合計は、前連結会計年度末に比べ798百万円増加し、16,149百万円となりました。これは主に、利益剰余金が705百万円増加したこと等によるものです。親会社の所有者に帰属する持分合計は前連結会計年度末に比べ790百万円増加し、16,100百万円となりました。

②キャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、営業活動による支出1,102百万円（前年同期は815百万円の支出）、投資活動による支出642百万円（前年同期は676百万円の支出）及び財務活動による支出1,144百万円（前年同期は577百万円の支出）でした。この結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は18,256百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における営業活動の結果、使用した資金は1,102百万円となりました。収入の主な内訳は、税引前四半期利益1,876百万円、金融保証契約の増加額1,717百万円であり、支出の主な内訳は、金融債権の増加額2,046百万円、法人所得税の支払額1,171百万円、その他の資産の増加額1,149百万円、その他の金融負債の減少額569百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は642百万円となりました。支出の主な内訳は、無形資産の取得による支出379百万円、貸付金貸付による支出175百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は1,144百万円となりました。収入の主な内訳は、長期借入金の借入による収入2,336百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出2,701百万円、配当金の支払額566百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。現時点において、2024年4月26日の「2024年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金及び現金同等物	21,150	18,267
金融債権	56,419	58,494
その他の金融資産	7,524	8,067
有形固定資産	2,837	3,423
無形資産	8,914	9,052
のれん	3,958	3,958
持分法投資	3,173	3,210
繰延税金資産	14	6
保険資産	6,893	8,113
その他の資産	14,393	14,336
資産合計	125,274	126,926
<b>負債の部</b>		
金融保証契約	45,726	47,443
故障保証前受収益	7,184	7,509
借入金	42,333	41,969
その他の金融負債	8,063	7,968
引当金	383	393
未払法人所得税	1,164	476
繰延税金負債	1,236	1,367
その他の負債	3,835	3,654
負債合計	109,923	110,778
<b>資本の部</b>		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	1,700	1,700
資本剰余金	1,534	1,559
利益剰余金	14,626	15,331
自己株式	△3,109	△3,109
その他の資本の構成要素	559	619
親会社の所有者に帰属する持分合計	15,310	16,100
非支配持分	40	48
資本合計	15,351	16,149
負債及び資本合計	125,274	126,926

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業収益	7,233	8,674
営業費用	5,868	6,852
営業利益	1,365	1,823
持分法による投資利益	60	17
その他の金融収益	4	45
その他の金融費用	20	8
税引前四半期利益	1,408	1,876
法人所得税費用	332	600
四半期利益	1,075	1,276
四半期利益の所属		
親会社の所有者	1,072	1,274
非支配持分	4	2
四半期利益	1,075	1,276
親会社の所有者に帰属する		
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	27.56	33.62
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	27.36	33.36

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期利益	1,075	1,276
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1	△1
持分法によるその他の包括利益	87	43
税引後その他の包括利益	86	42
四半期包括利益	1,162	1,318
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,158	1,310
非支配持分	3	8
四半期包括利益	1,162	1,318

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本 の構成要素
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	新株予約権
2023年4月1日残高	1,700	1,415	10,952	△1,088	105
四半期包括利益					
四半期利益	-	-	1,072	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-
四半期包括利益合計	-	-	1,072	-	-
所有者との取引額等					
自己株式の取得	-	-	-	△0	-
配当金	-	-	△428	-	-
株式に基づく報酬取引	-	40	-	-	25
所有者との取引額等合計	-	40	△428	△0	25
2023年6月30日残高	1,700	1,455	11,596	△1,088	129

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	持分法によ るその他の 包括利益	在外営業活 動体の換算 差額	計			
2023年4月1日残高	230	8	343	13,322	31	13,353
四半期包括利益						
四半期利益	-	-	-	1,072	4	1,075
その他の包括利益	87	△1	87	87	△0	86
四半期包括利益合計	87	△1	87	1,158	3	1,162
所有者との取引額等						
自己株式の取得	-	-	-	△0	-	△0
配当金	-	-	-	△428	-	△428
株式に基づく報酬取引	-	-	25	65	-	65
所有者との取引額等合計	-	-	25	△363	-	△363
2023年6月30日残高	317	8	454	14,117	35	14,151

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本 の構成要素
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	新株予約権
2024年4月1日残高	1,700	1,534	14,626	△3,109	195
四半期包括利益					
四半期利益	-	-	1,274	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-
四半期包括利益合計	-	-	1,274	-	-
所有者との取引額等					
配当金	-	-	△568	-	-
株式に基づく報酬取引	-	24	-	-	24
所有者との取引額等合計	-	24	△568	-	24
2024年6月30日残高	1,700	1,559	15,331	△3,109	219

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	持分法によ るその他の 包括利益	在外営業活 動体の換算 差額	計			
2024年4月1日残高	357	7	559	15,310	40	15,351
四半期包括利益						
四半期利益	-	-	-	1,274	2	1,276
その他の包括利益	43	△6	36	36	6	42
四半期包括利益合計	43	△6	36	1,310	8	1,318
所有者との取引額等						
配当金	-	-	-	△568	-	△568
株式に基づく報酬取引	-	-	24	48	-	48
所有者との取引額等合計	-	-	24	△520	-	△520
2024年6月30日残高	400	1	619	16,100	48	16,149

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,408	1,876
減価償却費及び償却費	367	453
その他の損益	72	78
金融債権の増減額(△は増加)	△3,236	△2,046
金融保証契約の増減額(△は減少)	2,650	1,717
その他の金融資産の増減額(△は増加)	△218	△374
その他の金融負債の増減額(△は減少)	△785	△569
その他の資産の増減額(△は増加)	△469	△1,149
その他の負債の増減額(△は減少)	△94	120
持分法による投資損益(△は益)	△60	△17
その他	106	49
小計	△259	139
利息の受取額	1	1
利息の支払額	△69	△118
配当金の受取額	84	46
法人所得税の支払額	△572	△1,171
営業活動によるキャッシュ・フロー	△815	△1,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△81	△112
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形資産の取得による支出	△554	△379
投資有価証券の取得による支出	△50	△0
貸付金貸付による支出	△3	△175
貸付金回収による収入	3	6
差入保証金の差入による支出	△45	△36
差入保証金の回収による収入	55	53
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△676	△642
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△1,000	-
長期借入金の借入による収入	3,143	2,336
長期借入金の返済による支出	△2,092	△2,701
リース負債の返済による支出	△208	△218
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△425	△566
その他	5	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△577	△1,144
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,069	△2,888
現金及び現金同等物の期首残高	14,848	21,139
現金及び現金同等物の為替換算による影響	3	4
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,782	18,256

- (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントに関する全般的情報

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ファイナンス事業」、「故障保証事業」及び「オートモビリティサービス事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの概要は、以下になります。

「ファイナンス事業」は、主にお客様が商品やサービスを購入する際に、分割払いができる金融サービスを提供するクレジット事業及び債権回収サービスから構成されております。

「故障保証事業」は、お客様が当社グループの提携先を通じて自動車を購入し、保証サービスの提供を希望される場合、一定の保証料をお支払いいただくことで、購入された自動車に故障が発生した際、あらかじめ定めた保証の提供範囲内において、無償で修理が受けられる「故障保証」サービスから構成されております。

「オートモビリティサービス事業」は、自動車流通事業を運営するうえで必要とされる複数のサービス(会員制ネットワーク事業、オートリース事業、自動車卸販売、自動車部品の販売及びソフトウェア販売等)の提供を行う「オートモビリティサービス」を中心に構成されております。

当社グループは、当社取締役会が使用する事業セグメントへ、資産及び負債を配分しておりません。

(2) 報告セグメントごとの利益または損失

当社グループのセグメント別の各損益は、基本的に連結財務諸表の作成基礎と同様の方法で作成しております。調整額及び全社は、主にセグメント間の内部取引消去であります。なお、セグメント間の内部取引価格は市場実勢価格に基づいております。

当社グループは当第1四半期連結累計期間より、ビジネスユニット再編に伴う取締役会の業績評価区分の変更のため、「故障保証事業」に含まれていた自動車部品の販売事業を「オートモビリティサービス事業」に変更しております。また、前連結会計年度末より報告セグメントの利益は、当社取締役会への報告において、主要な営業活動の成果が反映された営業利益を使用した業績管理に変更したことに伴い、税引前利益から営業利益に変更しております。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、実務上可能な範囲で当第1四半期連結累計期間と同様の方法で計算し、修正再表示しております。

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 及び全社 (注2)	連結
	ファイナンス	故障保証	オート モビリティ サービス	計			
収益							
外部顧客からの収益	4,032	1,398	1,800	7,230	3	0	7,233
セグメント損益							
営業利益(△損失)	1,022	171	175	1,369	12	△16	1,365

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 及び全社 (注2)	連結
	ファイナンス	故障保証	オート モビリティ サービス	計			
収益							
外部顧客からの収益	4,812	1,673	2,186	8,671	3	0	8,674
セグメント間収益	96	1	449	546	45	△592	-
計	4,908	1,675	2,635	9,217	48	△592	8,674
セグメント損益							
営業利益(△損失)	1,220	312	297	1,829	8	△15	1,823

その他の項目

金融収益(注3)	4,017	-	206	4,223	-	△78	4,145
金利費用	40	-	71	111	-	-	111
減価償却費及び償却費	277	63	102	442	3	8	453

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にシステム事業であります。

(注2) 「調整額及び全社」は、主にセグメント間取引消去であります。

(注3) ファイナンス事業、オートモビリティサービス事業並びに調整額及び全社にそれぞれ金利収益448百万円、206百万円及び△4百万円を含んでおります。

営業利益から税引前四半期利益への調整表

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業利益	1,365	1,823
持分法による投資利益	60	17
その他の金融収益	4	45
その他の金融費用	20	8
税引前四半期利益	1,408	1,876